



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 極洋
 コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 小田 匡彦

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	116,861	7.9	1,379	87.6	1,505	33.4	1,577	122.1
2020年3月期第2四半期	126,884	6.4	735	31.5	1,128	15.3	710	13.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,915百万円 (452.1%) 2020年3月期第2四半期 528百万円 (62.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	146.78	
2020年3月期第2四半期	65.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	115,610	34,480	30.3
2020年3月期	111,184	32,593	29.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 35,035百万円 2020年3月期 32,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				70.00	70.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	2.8	4,200	43.9	4,500	24.7	3,000	47.3	279.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	10,928,283 株	2020年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	170,699 株	2020年3月期	187,735 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	10,749,646 株	2020年3月期2Q	10,819,101 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は2020年11月11日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少が続き、依然として厳しい状況が続く一方で、経済活動の再開とともに個人消費や輸出で持ち直しの動きが見られました。

水産・食品業界におきましても、外出自粛を経て新しい生活様式が徐々に浸透してきたことで、消費者ニーズ、購買動向に変化が見られました。

このような状況のもとで、中期経営計画『Change Kyokuyo 2021』（2018年度～2020年度）の最終年度として、『魚を中心とした総合食品会社として、高収益構造への転換をはかり、資源、環境、労働などの社会的要請を踏まえ、事業のウイングの拡大と時間価値の提供により企業価値の向上を目指す』という基本方針のもと、『ESG重視の事業活動』を通じて『拡大』『強化』『均衡』の各戦略を進め、高収益構造へ大きく転換していくことを目指し、目標達成に向け取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,168億61百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は13億79百万円（前年同期比87.6%増）、経常利益は15億5百万円（前年同期比33.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億77百万円（前年同期比122.1%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりです。

①水産商事セグメント

新型コロナウイルス感染症の影響により外食・業務筋向け需要が減少したことから、エビの国内販売やホタテなどの輸出販売が低迷しました。この結果、売上は前年同期を下回りましたが、利益は鮭鱒の原料及び加工品の取扱量が増加し利益率が改善したことにより、前年同期を上回りました。

水産商事セグメントの売上高は541億16百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は12億5百万円（前年同期比347.5%増）となりました。

②冷凍食品セグメント

緊急事態宣言発令による外食需要の減少や、事業所・学校給食の休止などの影響から、切身・煮魚、カニ風味かまぼこなどの売上が減少しました。解除後は徐々に回復し、第2四半期連結会計期間の利益は前期を上回ったものの、第1四半期連結会計期間の落ち込みをカバーするには至らず、売上・利益とも前年同期を下回りました。

冷凍食品セグメントの売上高は378億20百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は2億87百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

③常温食品セグメント

缶詰販売は、緊急事態宣言の発令による備蓄品需要の一時的な増加があったものの、解除後の反動もあり、前期並みの販売に留まりました。一方、珍味製品においては、家飲み需要の増加に伴い販売が順調に推移しました。この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

常温食品セグメントの売上高は97億93百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は4億5百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

④物流サービスセグメント

新型コロナウイルス感染症の影響により当初は荷動きが鈍化したものの、経済活動の再開により徐々に回復したこと、また在庫貨物の確保、配送事業強化に努めた結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。

物流サービスセグメントの売上高は5億21百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は1億74百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

⑤鯉・鮪セグメント

加工及び販売事業では、マグロ加工品の販売が堅調に推移しました。また国産養殖クロマグロ事業では、出荷増により売上が伸長し、収支が改善しました。一方で海外まき網事業では、カツオ魚価の低迷が続き、漁獲高も減少したことにより収支が悪化しました。この結果、売上は前年同期を上回りましたが、利益は前年同期を下回りました。

鯉・鮪セグメントの売上高は143億94百万円（前年同期比2.9%増）、営業損失は58百万円（前年同期は営業利益1億72百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44億26百万円増加し、1,156億10百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ35億94百万円増加し、888億46百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産ともに減価償却により減少したものの、投資その他の資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ8億31百万円増加し、267億64百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ25億38百万円増加し、811億29百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億87百万円増加し、344億80百万円となりました。

この結果、自己資本比率は30.3%(前連結会計年度末比0.9ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響など、不透明な状況が続きますが、当社グループでは事業環境が徐々に回復していくと想定しており、2020年5月12日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,522	5,956
受取手形及び売掛金	33,444	36,488
たな卸資産	41,044	44,501
その他	4,246	1,908
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	85,251	88,846
固定資産		
有形固定資産	15,976	15,582
無形固定資産		
のれん	9	8
その他	532	491
無形固定資産合計	541	500
投資その他の資産		
投資有価証券	5,693	7,595
その他	5,517	4,723
貸倒引当金	△1,796	△1,638
投資その他の資産合計	9,414	10,681
固定資産合計	25,932	26,764
資産合計	111,184	115,610

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,061	11,123
短期借入金	25,594	17,331
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,032	1,333
引当金	948	954
その他	9,182	7,864
流動負債合計	54,818	48,606
固定負債		
長期借入金	19,124	27,929
引当金	348	320
退職給付に係る負債	3,947	3,937
資産除去債務	51	52
その他	302	283
固定負債合計	23,773	32,522
負債合計	78,591	81,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,308	1,329
利益剰余金	25,895	26,476
自己株式	△471	△430
株主資本合計	32,396	33,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	591	2,359
繰延ヘッジ損益	82	5
為替換算調整勘定	215	140
退職給付に係る調整累計額	△568	△510
その他の包括利益累計額合計	321	1,994
非支配株主持分	△125	△554
純資産合計	32,593	34,480
負債純資産合計	111,184	115,610

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	126,884	116,861
売上原価	115,283	105,036
売上総利益	11,600	11,825
販売費及び一般管理費	10,865	10,445
営業利益	735	1,379
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	64	64
持分法による投資利益	88	84
補助金収入	229	66
為替差益	164	56
その他	110	102
営業外収益合計	661	376
営業外費用		
支払利息	225	198
訴訟損失引当金繰入額	—	4
貸倒引当金繰入額	0	△17
その他	42	64
営業外費用合計	268	250
経常利益	1,128	1,505
特別利益		
固定資産処分益	0	18
投資有価証券売却益	—	1,267
受取保険金	—	116
国庫補助金等収入	0	63
特別利益合計	0	1,465
特別損失		
固定資産処分損	2	13
減損損失	11	519
災害による損失	—	134
固定資産圧縮損	0	62
投資有価証券評価損	23	—
特別損失合計	38	730
税金等調整前四半期純利益	1,091	2,240
法人税、住民税及び事業税	644	1,242
法人税等調整額	△148	△264
法人税等合計	495	978
四半期純利益	595	1,261
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	710	1,577
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△114	△316

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	1,767
繰延ヘッジ損益	11	△77
為替換算調整勘定	△4	△93
退職給付に係る調整額	61	57
その他の包括利益合計	△67	1,654
四半期包括利益	528	2,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	635	3,250
非支配株主に係る四半期包括利益	△107	△335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,091	2,240
減価償却費	933	947
減損損失	11	519
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△156
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7	80
その他の引当金の増減額(△は減少)	28	28
受取利息及び受取配当金	△68	△66
支払利息	225	198
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,267
売上債権の増減額(△は増加)	△1,908	△3,113
その他債権の増減額(△は増加)	2,291	2,434
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,909	△3,516
仕入債務の増減額(△は減少)	427	3,145
その他債務の増減額(△は減少)	△1,807	△1,276
その他	△67	4
小計	△3,760	203
利息及び配当金の受取額	91	65
利息の支払額	△233	△195
国庫補助金等の受取額	0	63
法人税等の支払額	△422	△959
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,324	△822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3	39
固定資産の取得による支出	△1,621	△1,171
固定資産の売却による収入	0	40
投資有価証券の取得による支出	△214	△8
投資有価証券の売却による収入	—	1,762
貸付けによる支出	△8	△25
貸付金の回収による収入	26	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,821	661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,498	△4,633
長期借入れによる収入	2,700	9,880
長期借入金の返済による支出	△616	△4,633
配当金の支払額	△760	△754
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△82
その他	△90	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,731	△293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△423	△519
現金及び現金同等物の期首残高	4,621	6,313
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,197	5,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	62,101	40,616	9,523	449	13,994	198	126,884	—	126,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,170	2,546	153	884	2,143	638	22,537	△22,537	—
計	78,272	43,163	9,676	1,334	16,138	837	149,422	△22,537	126,884
セグメント利益又は損失(△)	269	351	325	150	172	△14	1,255	△519	735

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用629百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	54,116	37,820	9,793	521	14,394	215	116,861	—	116,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,764	2,808	124	901	1,796	692	22,088	△22,088	—
計	69,880	40,629	9,917	1,423	16,191	908	138,950	△22,088	116,861
セグメント利益又は損失(△)	1,205	287	405	174	△58	14	2,029	△649	1,379

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額649百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用614百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を519百万円計上しております。当該減損損失の計上額は、冷凍食品セグメントにおいて516百万円、鰹・鮪セグメントにおいて3百万円であります。